

# Lesson16 おうちではじめるDIY

「おうちではじめるDIY」では、毎回おうちでつくれる、木の良さをいかした作品を紹介していきます。今回の作品は、前回に引き続き大きさの違う2つの引き出しがついた「二段引き出し(外枠部分)」です。基礎知識は、「引き出し部分の寸法」について教わります。

## ◇二段引き出し(外枠部分)◇

### 材 料

杉板 【A天板】 324×140×12×1 【B裏板】 300×200×12×1  
 【C底板】 324×140×12×1 【D側板】 200×140×12×2  
 【E棚板】 300×128×12×1

スリムビス25ミリ33本、木工用ボンド、紙やすり(180番)

※材料寸法は長さ×幅×厚み×枚数であらわしています。単位はmm

※木材は、ホームセンターの木材カットサービスを使って入手することができます。

お手持ちの木材のサイズに合わせて、作品の長さや幅をアレンジしてもよいです。

※塗料は、ミルク原料を使用した天然由来ペイントを使用しています。

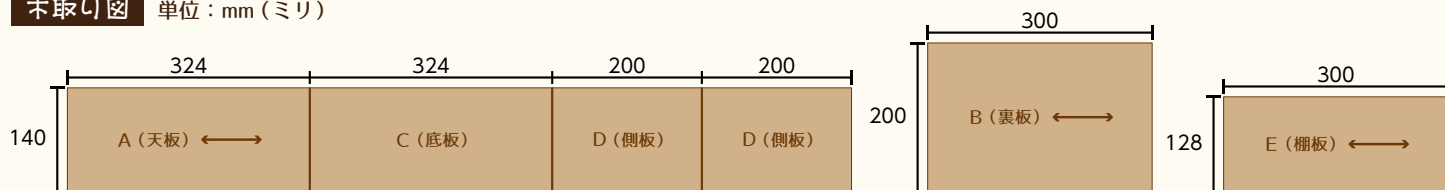


※写真左側の二段引き出しを2回にわたって紹介します。

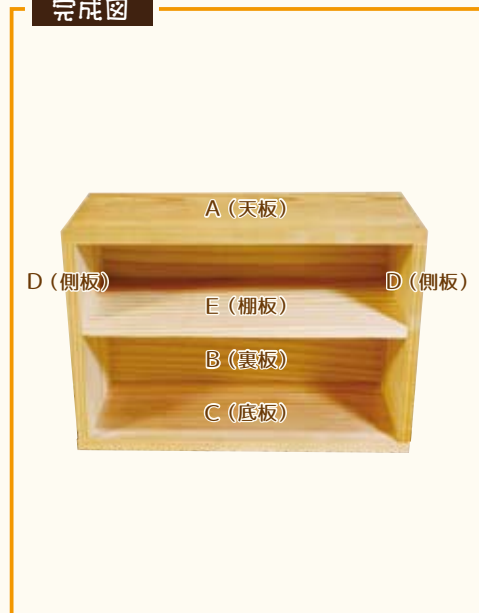
### 道 具

ドリルドライバー、ドリルビット(2ミリ)、ドライバービット(+1)、  
 定規、スコヤ、キリ、ヘラ(ボンド用)、塗装用スポンジ、木杵や捨て板等

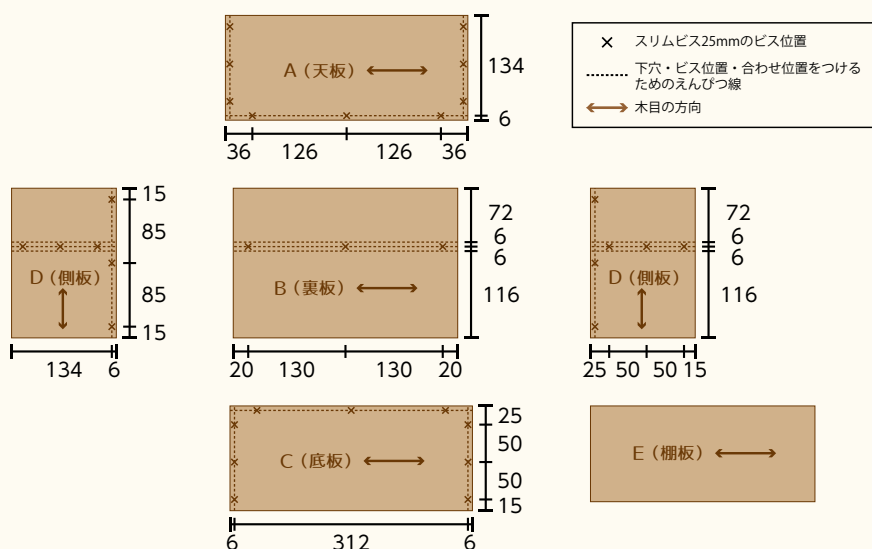
### 木取り図 単位：mm(ミリ)



### 完成図



### 加工図 単位：mm(ミリ)



## スマイルウッド おうち木工教室 笠部のおうち

国産杉の木工キットを使った、こだわりがいっぱいの木工教室を開講。木材は産地証明付き。天然素材の接着剤や植物のやすりを使い、他にはない体験ができます。60種類以上の木工キットは、コースターのような小さな作品から大人用のツールのような作りがいのある作品まで多種多様。塗装は20色のカラーパリエーションを用意。選ぶ楽しみ、作る楽しみ、使う喜びを感じていただける『おうち木工教室』。木工がはじめてという方も大歓迎。楽しみながら作品をつくるうちに、DIYの幅が広がります。体験レッスンも随時受け付け中！

**住 所** 伊賀市笠部 533  
**開講時間** 火曜・土曜 13:30~17:00  
 ※応相談。要電話予約  
**TEL** 080-7041-6483  
**HP** <http://smile-wood.com/>



作り方



①印をつける  
定規やスコヤを使って、部材の内側(接着面)にビス位置や合わせ位置の印をつけます。



②下穴をあける  
ドリルビットのずれ防止に、ビス位置にキリで軽く穴をあけておきます。2ミリのドリルビットを付けたドリルドライバーで、ビス位置に下穴(貫通穴)をあけます。木枠にのせた捨て板の上に材を置いてあげましょう。



③組み立て  
接着面にボンドを塗り、ドライバービット(+1)を付けたドリルドライバーでビスどめします。組み立ての順番は次のとおりです。



③<1> B裏板にD側板の一枚をつけます。E棚板を支えに使うとよいでしょう。



③<2> <1>でつけたD側板にE棚板をつけます。



③<3> B裏板とE棚板をビスどめします。



③<4> <3>と残りのD側板をつけます。



③<5> <4>とA天板をつけます。



③<6> <5>とC底板をつけます。

ドリルは部材に対して垂直になるようにしましょう



はい



④やすりがけ  
紙やすりで表面を整えます。木目と同じ方向にかけましょう。



⑤塗装  
スポンジを使って塗料を少量ずつ塗り重ねます。枠の中は奥まで塗る必要はありませんが、引き出しが少し内側に納まる形なので、入口付近の2~3センチは塗っておくとよいでしょう。



前回の引き出し部分を入れて、二段引き出しが完成!



使うのが楽しみです♪



講師紹介  
スマイルウッド代表  
岡さつきさん

伊賀市笠部で「スマイルウッド『おうち木工教室』」を開講。木でできたものが持つぬくもりと、ほっとする時間を届けたいという想いから大阪で起業。その後、木工の師匠や仲間と出会い、自宅でも開業できるおうち木工教室の講師を養成する「スマイルウッド」の代表に。2015年に古い民家を仲間と改装し、拠点を伊賀市笠部へ。木のものづくりの楽しさを広げたいと日々奮闘中。

今回の基礎知識! 【引き出し部分の寸法】

今回の引き出しは、引き出し部分の寸法を外枠の内寸よりも左右1.5ミリずつ小さめに作ってあります。木の反りや組み具合によって多少引き出しがきっちり作れなくても、余裕を持たせた寸法にしておくことによって「引き出しは難しいから作れない」ということがなくなります。ぜひチャレンジしてみてください。



おすすめディスプレイ



図面では、上段に高さが短い引き出しが入る設計になっていますが、枠の上下を入れ替えて使うこともできます。いくつも作って引き出しの色を塗り分けると、文房具や日用品の収納に便利ですね。